

令和4年度 第3回学校運営協議会

令和5年3月8日（水）（協議）

能勢分校会議室において、第3回の学校運営協議会を開催しました。学校運営協議会委員4名（代理1名を含む）、学校側からは准校長、教頭、課長補佐、首席、各系列代表教諭が出席しました。今回の運営協議会では、学校教育自己診断、授業評価アンケートの結果について、各系列の取組みの今年度の総括、学校経営計画及び学校評価についての説明、最後に来年度に向けての本校の課題や方向性について議論しました。

内 容

1. 運営協議会 15:00～16:55

- ① 准校長挨拶
- ② 協議事項
 - ・学校教育自己診断結果について
 - ・授業評価アンケートの結果について
 - ・系列の取組みについて今年度総括
 - ・学校経営計画及び学校評価について
 - ・来年度に向けての取組みと提言

委員からの意見等

【協議】

- ・学校教育自己診断では能勢分校の根幹となる取組みについては良い結果であった。学習や家庭学習についての項目に改善の余地を見出した。生徒からの改善の要望も見えた。
- ・「本校に入学させてよかった」の項目の満足度が90%を超えていることは素晴らしい。
- ・生徒が担任以外の教員に相談をすることができる体制も良い。
- ・授業評価アンケートでは前回よりも数値が上昇した。授業への取組みは良くなっている。ただし、後期になり学習内容が専門化すると数値が下がる傾向にある。
- ・アンケート結果は生徒、保護者へは学校HPに掲載することで、教員にはアンケート結果の要因を考えるとという取組みを行い共有している。
- ・各系列の学びにおいて生徒たちが様々な取組みを行い、学んでいることを実感する。
- ・課題探究の発表会の内容が素晴らしかった。
- ・素晴らしい探究内容が多くある。一年限りでなく、経年で取組むことができるような継続性を考えてほしい。
- ・能勢ささゆり学園に分校生や留学生が交流に来校してくれることに小中学生たちは喜んで

- ・ 今後、全国的な人口減は能勢町も同じであり、少子化も同様である。その中で様々な生徒の入学が予想される。生徒の遅刻、長期欠席、進路変更などに対し、生徒の話を聞き、外部機関との連携をとりながら対応していきたい。
- ・ 来年度も引き続き、小中学校、能勢町とも連携を続けることは良いことだ。